

事務事業評価シート

作成：都市整備課施設保全係

(1)事務事業	登記事務費（都市整備課）				
(2)根拠 （法令、 計画）	なし				
(3)事務事業 目的	町道敷地内に、野木町以外の所有者がいる土地（道路敷地民有地）が存在する場合があります。この土地は、道路法第4条により私権が制限され、現時点では道路の管理に大きな支障はないものの、将来的に相続や売買などにより新たな問題が生じる可能性があります。これらの問題を解決し、道路の管理を円滑に進めることを目的としています。				
(4)事務事業 内容	一筆の他一部分が道路敷地内に存在する場合は、分筆登記を行います。 測量図面を作成する場合は、境界確認を行います。 法務局において所有権移転登記の手続きを行います。 用地買収とは異なり原則としてご寄付を前提としております。				
(5)対象者	すべての町民				
(6)成果指標	道路敷地民有地の解消 1件/年				
(7)活動指標	道路敷地民有地の調査・整理				
(8)目標達成状況		単位	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績
	成果指標1	〔件〕	1	2	2
	成果指標2	〔 〕			
	活動指標1	〔 〕			
	活動指標2	〔 〕			
	活動指標3	〔 〕			
(9)成果・効果	将来起こり得る様々な問題が、現時点では顕在化していないことから、一定の効果があったものと考えている。				

〔単位：千円〕

			No.	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				実績	実績	実績
(10) コスト分析	財 源 内 訳	国庫支出金	①			
		県支出金	②			
		地方債	③			
		その他	④			
		一般財源	⑤	458	436	586
	事業費		⑥	458	436	586
	人件費		⑦	284.4	284.8	288.8
	正職員数		⑧	0.05	0.05	0.05
	トータルコスト ⑥+⑦		⑨	742.4	720.8	874.8
	住民基本台帳人口		⑩	25,233	25,099	24,960
	町民一人当たりのコスト ⑨/⑩〔単位：円〕		⑪	29.4	28.7	35

〔単位：千円〕

(11) 事務事業達成のための細事務事業	No.	名称	財源 (R5)	事業費 (R5)	コスト削減 可能性
	1	登記業務委託	一般財源	586	無
	2				
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				

(12) 細事務事業に係る考察	現状の内容を維持しながら、道路敷地民有地の解消を推進する。	
(13) 評価	今後の方向性	維持
	現状の内容を維持しながら、道路敷地民有地の解消を推進する。	

事務事業評価シート

作成：都市整備課施設保全係

(1)事務事業	道路維持補修事業				
(2)根拠 (法令、 計画)	道路法第42条 野木町舗装長寿命化修繕計画				
(3)事務事業 目的	道路法第42条では、「道路管理者は、道路を常時良好な状態に保つように維持し、修繕し、もつて一般交通に支障を及ぼさないように努めなければならない。」と定められております。すべての道路利用者が快適に通行できるようにすることを目的としております。				
(4)事務事業 内容	道路の巡視を実施。 ポットホールなど道路異常の解消。 老朽化などで傷んだ舗装の修繕工事の実施。				
(5)対象者	すべての道路利用者				
(6)成果指標	道路異常が原因による事故発生件数 1件/年以内とする。				
(7)活動指標	野木町舗装長寿命化計画に基づく工事発注件数 1件/年以上とする。				
(8)目標達成状況		単位	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績
	成果指標1	〔件〕	0	0	0
	成果指標2	〔 〕			
	活動指標1	〔件〕	1	1	1
	活動指標2	〔 〕			
	活動指標3	〔 〕			
(9)成果・効果	日々の巡視や道路異常の早期解消により、道路異常の工事発生件数は抑えられているものと考えている。				

〔単位：千円〕

		No.	令和3年度	令和4年度	令和5年度
			実績	実績	実績
(10) コスト分析	財源内訳	国庫支出金	①		6,800
		県支出金	②		
		地方債	③		
		その他	④		
		一般財源	⑤		46,506
	事業費		⑥	63,812	61,675
	人件費		⑦	17,066.7	17,085.6
	正職員数		⑧	3	3
	トータルコスト ⑥+⑦		⑨	80,878.7	78,760.6
	住民基本台帳人口		⑩	25,233	25,099
	町民一人当たりのコスト ⑨/⑩〔単位：円〕		⑪	3205.3	3138

〔単位：千円〕

(11) 事務事業達成のための細事務事業	No.	名称	財源 (R5)	事業費 (R5)	コスト削減 可能性
	1	道路維持補修業務	一般財源	8,363	無
	2	道路清掃管理業務	一般財源	4,453	無
	3	道路冠水監視装置管理業務	一般財源	264	無
	4	災害時応急対策業務	一般財源	88	無
	5	町内一円舗装補修工事	一般財源	22,210	無
	6	佐川野39号線舗装修繕工事	国庫支出金	6,800	無
	7	佐川野39号線舗装修繕工事	一般財源	9,634	無
	8	原材料費 砕石等	一般財源	1,494	無
	9				
	10				

(12)細事務事業に係る考察		すべて法令等に基づいて実施しなければならない経費で、裁量により経費の削減が困難なものです。道路の巡視ではAIツールを活用することで、巡視ルートの最適化や異常検知の精度向上を図り、業務の効率化と品質の向上を目指します。さらに、GISや業務管理ツールを導入することで、道路情報の可視化、点検データの集約・分析を可能にし、よりの確な維持管理計画の策定に繋がります。これにより、道路の安全性と耐久性を高め、長期的にはコストの削減が期待できます。
(13)評価	今後の方向性	維持
	現状の内容を維持しながら、道路の品質管理に努める。	

事務事業評価シート

作成：都市整備課施設保全係

(1)事務事業	公園施設修繕事業				
(2)根拠 (法令、 計画)	公園遊具点検調査結果				
(3)事務事業 目的	公園の遊具を修繕することは公園利用者の安全を確保し、遊具の寿命を延ばし、公園の美観を維持することで、町民が安心して利用できる快適な公園環境を提供することを目的としております。				
(4)事務事業 内容	公園遊具の修繕や塗装工事などの実施。				
(5)対象者	すべての公園利用者				
(6)成果指標	公園遊具の維持管理瑕疵による事故発生件数 0件/年以内とする。				
(7)活動指標	公園遊具点検の実施および調査結果に基づく遊具修繕の実施				
(8)目標達成状況		単位	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績
	成果指標1	〔件〕	0	0	0
	成果指標2	〔 〕			
	活動指標1	〔 〕			
	活動指標2	〔 〕			
	活動指標3	〔 〕			
(9)成果・効果	公園遊具の維持管理瑕疵による事故は発生していないことが成果と言える。				

〔単位：千円〕

		No.	令和3年度	令和4年度	令和5年度
			実績	実績	実績
(10) コスト分析	財源内訳	国庫支出金	①		
		県支出金	②		
		地方債	③		
		その他	④		
		一般財源	⑤	2,998	3,825
	事業費		⑥	2,998	3,825
	人件費		⑦	2,844.5	2,847.6
	正職員数		⑧	0.5	0.5
	トータルコスト ⑥+⑦		⑨	5,842.5	6,672.6
	住民基本台帳人口		⑩	25,233	25,099
	町民一人当たりのコスト ⑨/⑩〔単位：円〕		⑪	231.5	265.9

〔単位：千円〕

(11) 事務事業達成のための細事務事業	No.	名称	財源 (R5)	事業費 (R5)	コスト削減 可能性
	1	公園遊具、施設修繕工事	一般財源	2,965	無
	2				
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				

(12)細事務事業に係る考察		業務管理ツールを導入することで、公園遊具の状態を把握し、適切なメンテナンスを実施することで、遊具の寿命を延ばし、利用者の安全を確保します。また、点検記録のデジタル化により、情報共有が円滑になり、迅速な対応が可能となり、業務効率化に繋がります。これにより、公園の利用者満足度向上に貢献し、公園の品質向上に繋がります。	
(13)評価	今後の方向性	維持	
	現状の内容を維持しながら、公園遊具の品質管理に努める。		